―― はじめに ――



本県の環境の保全に関する長期的な目標及び施策の方向性を示す第５次愛知県環境基本計画では、「SDGs 達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する『環境首都あいち』」を目標に掲げています。

SDGs は、17 のゴール及び 169 のターゲットが相互に関係しており、複数の課題を統合的に解決する重要性が示されています。本計画ではこの考え方に基づき、一見すると両立が困難であり、トレードオフの関係にあると思われる課題を「どちらか」ではなく、Win-Win の発想で「どちらも」を追求するなど、特定の施策が複数の課題を統合的に解決するよう施策を展開することとしています。

その一つとして、三河湾における「水質保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」があります。三河湾では、戦後の経済発展や都市化の進展などに伴い、赤潮・苦潮の発生など環境の悪化が生じたため、汚濁負荷の流入削減などの各種対策を行ってきました。これにより、富栄養化の原因物質である窒素やりんの濃度は改善傾向にある一方、ノリの色落ちやアサリの漁獲量減少の要因の一つとして漁業生産に必要な栄養塩類（窒素、りん等）の不足が指摘されています。このため、2022 年度から三河湾沿岸２か所の浄化センターで排水中の窒素とりんの濃度を増加させ、環境への影響やノリ、アサリへの効果を調査する「水質保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」を実施しています。

また、「三河湾ブルーカーボン推進事業」でも複数の課題解決を図っています。藻場等に吸収される炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、近年、二酸化炭素の吸収源の新しい選択肢として、世界中から注目されています。本県においても、「あいち地球温暖化防止戦略 2030（改定版）」に「ブルーカーボンの貯留促進」を掲げ、三河湾において藻場を拡大させるため、アマモの藻場造成を行う実証試験を 2024 年度から実施しています。藻場を拡大することは、二酸化炭素の吸収源となるだけでなく、水質や底質を浄化することや、様々な水生生物のすみかなどとなり生態系を保全することにもつながります。

こうしたことを踏まえ、今回の環境白書では、「特集」において「三河湾における環境再生に向けた取組」について紹介します。

この環境白書が、愛知の環境についての理解を深め、また、県民、事業者、関係団体の皆様がそれぞれの立場から環境をよりよくするための取組を進めていただくきっかけとなれば幸いです。

2024 年 12 月

愛知県知事　大村秀章

目　次

第１部　特集

特集　三河湾における環境再生に向けた取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第２部　令和５年度の環境の状況と施策

第１章　地球温暖化等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

第１節　地球温暖化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

第２節　オゾン層保護とフロン類対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

第２章　大気環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

第１節　環境の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

第２節　大気環境保全に関する施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

第３章　交通環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43

第１節　自動車交通環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43

第２節　航空機騒音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50

第３節　新幹線鉄道騒音・振動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51

第４章　生活環境（騒音、振動、悪臭）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

第１節　概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

第２節　騒音・振動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

第３節　悪臭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55

第５章　水環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57

第１節　環境の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57

第２節　水環境保全に関する施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66

第６章　土壌環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82

第１節　環境の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82

第２節　土壌汚染防止のための施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82

第７章　地盤環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84

第１節　環境の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84

第２節　地盤環境保全に関する施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・86

第８章　廃棄物・資源循環・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87

第１節　環境の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87

第２節　廃棄物・資源循環に関する施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93

第９章　自然環境・生物多様性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119

第１節　環境の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119

第２節　自然環境保全に関する施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・120

第３節　生物多様性の保全と施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・140

第 10 章　環境リスク　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・146
第１節　化学物質の適正管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・146
第２節　ダイオキシン類対策　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・149
第３節　環境放射能　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・151
第 11 章　人づくり・環境学習等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・157
第１節　人づくりの推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・157
第２節　環境学習等の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・163
第３節　SDGs 達成に向けた「人づくり」の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・166
第４節　国際環境協力の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・168
第 12 章　環境における各種基盤施策　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・169
第１節　公害の防止、健康被害者の救済　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・169
第２節　環境影響評価の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・172
第３節　企業の環境保全活動の支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・175
第４節　県の事務・事業における環境配慮の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・175
第５節　環境に関する調査・研究　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・178
第 13 章　第５次愛知県環境基本計画の進捗状況　・・・・・・・・・・・・・・・183

※以下の資料編については、Web ページにてご確認ください。

資料編

大気環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(1)
騒音・振動・悪臭　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(18)
水環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(23)
土壌環境・地盤環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(53)
廃棄物・資源循環　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(61)
自然環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(63)
組織・法体系等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(69)
環境行政年表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(75)

クローズアップ　目次

・「あいちカーボンニュートラルチャレンジ」制度を創設しました・・・・・・・・・・・・・・・・・14
・あいち脱炭素経営支援プラットフォームを核として中小企業等の脱炭素経営を支援しています・・・16
・企業から提案のあった脱炭素プロジェクトを支援しています・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
・「県営名古屋空港脱炭素化推進計画」を策定しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
・「衣浦港・三河港港湾脱炭素化推進計画」を策定しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
・気候危機対策交流フォーラムを開催しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
・水素社会実装推進室を設置し、水素・アンモニアの社会実装に向けた取組を進めていきます・・・・27
・知多市における低炭素水素モデルタウン事業の事業化可能性調査に取り組んでいます・・・・・・・28
・「あいちエコフレンドリー住宅ガイドブック」を作成しました・・・・・・・・・・・・・・・・・31
・あいちサーキュラーエコノミー推進プロジェクトチームが協働するプラスチック循環の取組が
スタートしました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・96
・「事業系食品ロス削減取組事例集」を大学生記者と作成しました・・・・・・・・・・・・・・・104
・「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」を策定しました・・・・・・・・・・・・・・・・・106
・「愛知県特定外来生物対策ハンドブック」を作成しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・125
・「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業活動発表・交流会」を開催しています・・・・・・137
・SDGs 登録企業等交流会を開催しています・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・167
・愛知発の環境イノベーションの創出・実装に向けて革新的なプロジェクトを支援しています・・・182

凡例

◆　年（年度）の表記は、原則として西暦を使用し、公的文書の引用等の場合は和暦を使用しています。